

開催実施要項

※違法駐停車など、迷惑行為は絶対にやめてください。

- 1 大会名 第46回福岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
兼第42回全九州高等学校新人陸上競技対校選手権大会福岡県予選大会
- 2 主 催 福岡県高等学校体育連盟 福岡県教育委員会 福岡陸上競技協会
- 3 主 管 福岡県高等学校体育連盟陸上競技専門部
- 4 期 日
(1) 競 技 第一日目 令和6年9月14日(土) 10時 競技開始(予定)
第二日目 令和6年9月15日(日) 10時 競技開始(予定)
(2) 閉会式 令和6年9月15日(日) 16時30分~(予定)
- 5 会 場 博多の森陸上競技場
福岡市博多区東平尾公園2-1 TEL 092-611-1515
- 6 競技規則 2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び競技会における広告及び展示物規程による
- 7 競技方法
1. 学校対抗とする。(ただし、男女別とする)
2. 種目得点は、第1位が8点、以下7. 6. 5. 4. 3. 2. 1点とする。
- 8 種 目
(男子) 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH 400mH 3000mSC
5000mW 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投 円盤投 ハンマー やり投 8種競技 計21種目
(女子) 100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH 400mH 5000mW
4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投
ハンマー投 やり投 7種競技 計20種目
- 9 引率・監督について
(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第22条の2に示された者)も可とする。

(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

10 参加資格及び競技方法

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得た者であること。
 - (3) 福岡陸上競技協会に登録された者（チーム）であること。
 - (4) 年齢は2006（平成18年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。競技は学校対抗とする。
 - (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない事由による場合は、陸上競技専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りではない。
 - (8) 参加選手については、校長の参加申込みを必要とする。
 - (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。
- (10) 参加資格の特例
- ア 上記(1)～(2)に定める生徒以外、(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。
 - ウ 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒は、2学年までとする。

11 参加制限

- (1) 予選会において、中部ブロックは8位までの入賞者（リレーは8チーム、男女走高跳と男子棒高跳は8位までの入賞者8名）、北部ブロックと南部ブロックは6位までの入賞者（リレーは6チーム、男女走高跳と男子棒高跳は6位までの入賞者6名）、筑豊ブロックは4位までの入賞者（リレーは4チーム、男女走高跳と男子棒高跳は4位までの入賞者4名）とする。
- (2) 競歩競技は、中部ブロックは6位までの入賞者、北部ブロックは5位までの入賞者、南部ブロックは4位までの入賞者、筑豊ブロックは3位までの入賞者とする。女子棒高跳は、中部ブロックは6位までの入賞者6名、北部ブロックは5位までの入賞者5名、南部ブロックは4位までの入賞者4名、筑豊ブロックは3位まで

の入賞者 3 名とする。

女子三段跳と女子ハンマー投は、中部ブロックは 6 位までの入賞者、北部ブロックは 5 位までの入賞者、南部ブロックは 4 位までの入賞者、筑豊ブロックは 3 位までの入賞者とする。

混成競技は、中部ブロックは 5 位までの入賞者、北部ブロックと南部ブロックは 4 位までの入賞者、筑豊ブロックは 3 位までの入賞者とする。

- (3) 1 種目 1 校 3 名以内、リレーは 1 校 1 チーム 6 名以内とし、同一人は 2 種目以内（リレーを除く）とする。

12 個人情報及び肖像権について

上記取り扱いは高体連 H P 「個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて」に記載の通りとする。

13 参加負担金

個人 1 人 500 円を参加負担金として徴収する。

【後日、県高体連事務局が取りまとめて各学校に徴収】

14 申し込み

- 申込書類
- ・各学校は参加申込書 2 部を各ブロック専門委員長に提出する。
 - ・提出は各ブロック委員長へ 9 月 4 日（水）まで必着（提出期限厳守）

15 備考

- (1) 本大会は第 42 回全九州高等学校新人陸上競技大会の予選を兼ねる。各種目 3 位までの入賞者（棒高跳と走高跳は 3 位までの入賞者 3 名）、又は入賞チームが出場権を獲得する。ただし、1 種目 1 校 2 名以内、リレーは 1 校 1 チーム 6 名以内とし、同一人は 2 種目以内とする。（リレーを除く）
- (2) 出場者は胸部、背部に「アスリートビブス」をつけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の出場者は、いずれかを除いてもよい。
- (3) 持参するやりは、検査のうえ使用を認める。
- (4) リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (5) 競技場は全天候なので、使用的スパイクシューズのピンの長さは、やり投と走高跳については 12mm、その他は 9 mm 以下とする。
- (6) 審判員の指示に従い、不測の事故が起こらないように十分注意すること。
- (7) 全九州高校新人陸上大会について

日 時 令和 6 年 10 月 4 日（金）～ 6 日（日）

会 場 レゾナックドーム大分（大分県大分市横尾 1351 ）

参加負担金 1 名 2,000 円

アスリートビブス代 1 名 500 円

※全九州高校新人陸上大会に出場する学校については、大会事務局で宿泊を斡旋するので、必ず申し込みをすること。（九州高体連申し合わせ事項）

※県大会終了後、参加負担金・アスリートビブス代（2500円×人数分）を納める事。

16 高体連の参加申込書に記載されている生徒個人情報について

- ・大会競技プログラムへの記載
- ・参加資格の確認（年齢・転校等）
- ・競技成績については学校名・氏名・学年・成績（記録）のみを公表

参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。

17 その他

各ブロック専門委員長が県大会競技担当者会議時に持参するもの

- ア. 各学校参加申込書（A4で2部）
- イ. 県大会参加校及び参加人数
- ウ. 成績一覧表

※ 問合先：福岡県立筑前高等学校 凌 拓朗 TEL 092-807-0611

令和6年度 福岡県新人陸上競技対校選手権大会 競技順序 第1日目

トラック

順序	性別	種 目	ラウンド	組数・着取り	開始時刻
1	男子	5000mW	決		10:00
2	女子	7種 100mH		2組	10:40
3	男子	8種 100m		2組	10:50
4	女子	1500m	予	2×5+2	11:00
5	男子	1500m	予	2×5+2	11:15
6	女子	400m	予	3×2+2	11:30
7	男子	400m	予	3×2+2	11:45
8	女子	100m	予	3×2+2	12:00
9	男子	100m	予	3×2+2	12:10
10	女子	100mH	予	3×2+2	12:40
11	男子	110mH	予	3×2+2	12:55
12	女子	400m	決		13:40
13	男子	400m	決		13:45
14	女子	100m	決		13:55
15	男子	100m	決		14:00
16	女子	100mH	決		14:15
17	男子	110mH	決		14:25
18	女子	1500m	決		14:35
19	男子	1500m	決		14:45
20	女子	4×100mR	予	3×2+2	15:05
21	男子	4×100mR	予	3×2+2	15:20
22	男子	8種 400m		2組	15:45
23	女子	7種 200m		2組	15:55
24	女子	4×400mR	予	3×2+2	16:15
25	男子	4×400mR	予	3×2+2	16:40
26	男子	3000mSC	予	2×5+2	17:00

フィールド

順序	性別	種 目	ラウンド		開始時刻
1	男子	ハンマー投	決		10:00
2	男子	走幅跳	決	2ピット	10:30
3	女子	走高跳	決		10:30
4	女子	棒高跳	決		10:30
5	男子	砲丸投	決		11:00
6	女子	ハンマー投	決		12:15
7	男子	8種 走幅跳		2ピット	12:30
8	女子	7種 走高跳			13:00
9	女子	やり投	決		14:00
10	男子	8種 砲丸投			14:00
11	男子	走高跳	決		14:30
12	女子	三段跳	決	2ピット	14:30
13	女子	7種 砲丸投			14:45
14	女子	円盤投	決		15:30

令和6年度 福岡県新人陸上競技対校選手権大会 競技順序 第2日目

トラック

順序	性別	種 目	ラウンド	組数・着取り	開始時刻
1	女子	5000mW	決		10:00
2	男子	8種 110mH		2組	10:45
3	男子	5000m	決		10:55
4	女子	800m	予	3×2+2	11:15
5	男子	800m	予	3×2+2	11:30
6	女子	400mH	予	3×2+2	11:45
7	男子	400mH	予	3×2+2	12:00
8	女子	200m	予	3×2+2	12:15
9	男子	200m	予	3×2+2	12:25
10	女子	400mH	決		13:40
11	男子	400mH	決		13:50
12	女子	200m	決		14:00
13	男子	200m	決		14:05
14	女子	800m	決		14:15
15	男子	800m	決		14:25
16	女子	4×100mR	決		14:45
17	男子	4×100mR	決	2組	14:55
18	女子	7種 800m		1組	15:15
19	男子	8種 1500m			15:35
20	女子	4×400mR	決		15:50
21	男子	4×400mR	決		16:00
22	女子	3000m	決		16:15
23	男子	3000mSC	決		16:35

フィールド

順序	性別	種 目	ラウンド		開始時刻
1	男子	棒高跳	決		10:00
2	女子	7種 走幅跳		2ピット	10:00
3	男子	やり投	決		10:00
4	女子	走幅跳	決	2ピット	11:30
5	男子	8種 やり投			12:00
6	女子	砲丸投	決		13:00
7	女子	7種 やり投			13:00
8	男子	8種 走高跳			13:30
9	男子	三段跳	決	2ピット	14:00
10	男子	円盤投	決		14:30

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第22条の2に示された者）も可とする。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技予選	競技開始30分前	競技開始15分前
トラック競技決勝	競技開始20分前	競技開始10分前
棒高跳	競技開始120分前	競技開始110分前
走幅跳・三段跳・女子円盤投・ハンマー投	競技開始60分前	競技開始50分前
走高跳・男子円盤投・やり投・砲丸投	競技開始70分前	競技開始60分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は出場種目の招集時刻（点呼開始時刻）に招集所で点呼（競技者係受付に○印をつける）を受けて、競技者係の指示によりスタート地点またはピットに移動する。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ 契約をする競技者は、契約届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ④ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定どおりに受けられること。オーダー用紙提出後の変更はできない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出る。
大会のドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。
リレー種目で大会ドクターかトレーナーの診察を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日に大会へ参加する場合、再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事が出来る。
- ⑤ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。
- ⑥ 混成競技の招集は、両日共に第1種目は競技者または代理人が招集所で点呼（競技者係受付に○印をつける）を受ける。
第2種目からは、現地で混成係に招集（トラック競技20分前、フィールド競技40分前）を受ける。
棄権するときも必ず現地で申し出る。

3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、胸部または背部に付けるだけでもよい。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡された腰ナンバーカードを右腰やや後方につけること。

4 競技について

- (1) 走高跳・棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、安全面・気象条件等により変更することもある。

男子走高跳 1.70・1.85(練習) 1.70 1.75 1.80 1.85 1.88 (以降3cm)

女子走高跳 1.30・1.45(練習) 1.35 1.40 1.45 1.50 (以降3cm)

男子棒高跳 2.80・3.50・4.30(練習) 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 3.70 (以降10cm刻み)

女子棒高跳 2.00・2.50・3.30(練習) 2.00 2.20 2.40 2.60 2.70 (以降10cm刻み)

混成競技走高跳 A・Bピットの選択は、競技者が当日現地にて行う。

男子八種 Aピット 1.55 (練習) 1.55～(5cm刻み) ~1.70 1.73 (以後3cm刻み)

Bピット 1.25 (練習) 1.25～(5cm刻み) ~1.70 1.73 (以後3cm刻み)

女子七種 Aピット 1.30 (練習) 1.30～(5cm刻み) ~1.40 1.43 (以後3cm刻み)

Bピット 1.00 (練習) 1.00～(5cm刻み) ~1.40 1.43 (以後3cm刻み)

- (2) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。

- (3) スパイクシューズのピンの使用は9mm以下。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

- (4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

- (5) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。

- (6) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。

- (7) リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。

- (8) 通信機器(携帯電話・トランシーバー等)、ラジオ、音楽プレーヤー等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。

- (9) 次のトラック競技は、スタート後下記の時間で競技を打ち切る。ただし、この間に水濠を通過した選手は、そのままフィニッシュラインへ向かってもよい。

男5000mW：35分00秒 女5000mW：40分00秒

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、当該競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は「同着」としてレーンに余裕がある場合には、次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選とする。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者(0.001秒単位の時間まで同記録)は全員次のラウンドに進出できる。
- (2) 抽選のアナウンス後5分経過しても抽選にこない場合は本部が代理で行う。対象者は特にアナウンスに注意すること。抽選は本部の番組編成席で行う。

6 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 棒高跳用ポールは個人持参の物の使用を認める。やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) やりの検査は、第4ゲート用器具倉庫にて時間(通告する)を決めて行う。

7 練習について

- (1) フィールド種目の練習は、招集後に本競技場内で行う。
- (2) 投てき練習場での練習は、ハンマー投と女子円盤投のみ9月14日(土)の招集開始時間まで認める。
投てき練習場での練習に際しては引率者立ち会いのもと、事故防止に充分注意し練習すること。投てき練習場へは、関係者以外は立ち入らないこと。ハンマー投と女子円盤投の本競技場での練習は、公式練習2回のみ行う。
- (3) 競技場内の練習については事故防止のため、すべて競技役員の指示に従うこと。

8 表彰について

- (1) 第3位までの入賞者に表彰を行う。決勝終了後、被表彰者待機場所で待機すること。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までに賞状を渡す。顧問は表彰に賞状を受け取りに来ること。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。

9 新人九州大会について

- (1) 本大会において上位3位以内の競技者については、10月4日(金)～6日(日)レゾナックドーム大分で開催される全九州新人陸上競技対校選手権大会の出場権を得る。ただし、棒高跳・走高跳については上位3位までの競技者3名が出場権を得る。なお、各種目共、同一校においての出場者は2名までとする。
- (2) 九州大会出場資格を得た学校は、大会本部で必要書類を受け取り所定の手続きを行う。「仮申し込み書」は本大会終了後速やかに(大会中でも可)大会本部へ提出する。なお、正式申込書等については「仮申し込み書」に添付されている書類を確認すること。

10 その他

- (1) 記録については通告を行う。
- (2) 各校の応援用横断幕は、メインスタンドには張らないこと。のぼり旗についてはメインスタンド最上部後方フェンスにくくりつけてもよい。
- (3) フィールド競技を行っている際、その付近での応援は配慮をもって応援する。
- (4) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。
100mゴール付近の更衣室のみ利用可。
- (5) ゴミについては、各学校・個人で責任を持って持ち帰ること。
- (6) ビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。
- (7) 各校の控え所については、譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (8) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。
- (9) 雨天練習場の各校控え所としての使用は禁止する。